



静岡国際交流フォーラム
理事長
大滝 淳治様

「私の知る上海学生事情」



私は6年前から上海師範大学と連携して、上海市重点中学(上海市内に53校設立されて進学高校)の高校生や大学生を対象とした訪日教育旅行を春節(旧正月)と夏休み時期に毎年開催し、現在までに600名以上の学生が静岡を訪問し、日本の学生と交流を体験しております。

来日する学生は富裕層の子弟が多く、参加者の中でも、引率の先生が一番質素な生活環境です。中国は一人っ子政策で、子供には6つの財布(両親及び両親の祖父母)がある小皇帝と呼ばれており、来日する大半の子供たちは、毎晩、両親に連絡を取り、日々の過保護ぶりが感じられます。

しかし、子供たちは大変純真で、日本の子供と比較すると幼く感じられます。私たちの教育旅行は、日中の学生交流と日本の自然と文化、先進都市を見学するプログラムに重点を置いており、先月実施した教育旅行では、大井川鉄道のSLに乗車し、川根高校殿で交流を楽しみました。日本の方々からは、SLや田舎は中国でも普通の光景で、ご案内するのは中国の方に失礼だ。とのご意見もありますが、今の上海は、東京やニューヨーク以上に大都会となり、星空や緑溢れる自然は皆無です。また、日常の子供たちは、勉強やお稽古(音楽が人気)に忙しく、遊ぶ時間が少ないため、川根温泉の手漉き和紙体験教室では、一生懸命に和紙作りを楽しんでいました。学生交流では英語でコミュニケーションを図りますが、上海の学生は大変英語が上手く、学校では卒業時まで母国語と英語を同一レベルまで教育する方針です。

教育旅行の目的は、日本の学生に上海の学生と交流し、成長する中国の現状を感じていただき、今後、日本がアジアと連携し成長するためにも、国際感覚を養い、友情を育む国際人材の育成が急務であると痛切に感じ、交流を通じた体験で国際化の必要性を感じていただきたいと考えております。

今の上海は、世界一の国際競争市場で、教育旅行も欧米諸国の交流プランと激しい競争をしております。日本と同様に、学生の人気はアメリカ・ヨーロッパ・オーストラリア・カナダに集まりますが、アジアの中では日本の人気が高く、アジアの先進国としての人気と、最近では、将来の留学先として日本を選ぶ父兄の後押しがあります。理由としては、アメリカや欧米に留学すると卒業後も戻らないケースが多く、同等の教育水準が期待される日本の留学であれば、必ず戻ってくると考えております。

今回、静岡国際交流フォーラム協同組合を設立することで、教育旅行から始めた交流事業を拡大し、人々が交流することから生まれる新たな事業を展開し、国の垣根を越えた異文化の人材交流で、共栄共存が図れる社会を目指し、微力ながら頑張っております。

委員会報告

■2月28日(日)
第6回静岡中央ロータリークラブカップ
少年ラグビー大会(草薙総合運動場)



優勝は千葉の市川が優勝しました。来年も7回目があるわけですが、中央ロータリークラブ主催ですので、最低10名くらいは出席できるよう、皆様ご協力をお願いいたします。

3月1日静岡新聞掲載記事

出席報告..... 杉山 貴章 委員長

	月/日	出席計算 会員数	出席者	欠席者	出席率	メイク アップ	確 定 出席率
前々回	2/15	45名	37名	8名	—	2名	89.0%
前 回	2/22	44名	34名	10名	77.0%	(名)	—
本 日	3/1	44名	40名	4名	91.0%	(名)	—